

CONTENTS

地域発NEWS	1~4
国有林野所在市町村の魅力紹介	5~6
特集コーナー	7
使える！ 行政情報&	8
研究・技術の参考情報	
地域のこの人	9
東北森林管理局の管内で	10
予定されているイベント情報	



まだまだ雪を残す鳥海山です。
山形県と秋田県に跨がる、標高2,236 mの活火山です。

ブナ開花・結実の継続的な調査

庄内森林管理署

東北森林管理局管内の国有林には、ブナを主な構成樹種とする天然林が広く分布しています。ブナは、森林内の多数の個体がまるで協調するかのように一斉に開花・結実する豊作年と、ほとんど実のない凶作年があることが知られています。

東北森林管理局では、国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所からの依頼で、平成元年度より、ブナの開花・結実調査を毎年春と秋に観察しています。継続的な調査は、研究機関での研究に役立てられ、東北地方のブナの生態をより明らかにしていくとともに、自然落下種子を利用したブナの再生や、ツキノワグマなどブナの実を主に餌として生きている野生動物の保護・管理にも応用できることが期待できるとしています。



ブナ開花調査の様子

当署管内で5月に行った開花調査では、「一部開花」、「全体開花」と判定された場所がそれぞれありました。こうした結果については、東北森林管理局ホームページに管内の県ごとにとりまとめ公開しています。



全体開花したブナの枝の雄花(下向き)・雌花(上向き)

10月には結実調査を行います。山形県では平成30年の豊作以降、凶作や大凶作が続いていることから、久しぶりの豊作年となるか、気になるところです。

効率的な木材生産で明るい林業現場に

山形森林管理署

木材の生産は、立木の伐倒、枝払・玉切、集材、巻立をするといった一連の作業工程とともに、作業を行うための人員や機械、場所が必要となります。

また、効率的な木材生産かつ安全で生産性の高い作業を実施するためには作業路の適切な設置が必要となります。このため、斜面や岩石、沢などの地形を現地踏査しながら状況把握をしてきたところです。

一方で、昨今のドローンの登場により、現地の様子を上空から概観し、効率的に状況把握ができるようになりました。

昨年、当署管内の林業事業体では、踏査に先立ち、ドローンを活用した上空からの写真撮影に加え、赤外線



作業区域上空に向かうドローン

レーザー測量をし、詳細な地形の状況を把握しました。その結果、作業路等の適切な設置に有効であったことに加え、事前情報に基づく踏査箇所の重点化により、現地調査の労働生産性は約1.7倍となり、生じた余裕を社員の技能向上に充てられたほか、従業員の有給休暇取得率も約1.3倍となりました。同社の経営者は「今後も効率化に努め、胸を張って働ける会社づくりをしていきたい」と語っております。当署としても、明るい林業の現場の具現化のためにも、林業事業体が新しい技術を導入して国有林で効率的な木材生産に取り組み、生産技術を向上させていくことが大事だと考えています。

希少な秋田スギ「アオヤジロ」

米代東部森林管理署上小阿仁支署

当支署三里森林事務所管内246林班に、秋田県内でも数が少ない天然秋田スギの変異種「アオヤジロ（蒼弥白）」が1本生育しています。

その「アオヤジロ」は推定樹齢160年、高さ約33m、胸高直径※80cmほどで、針葉が黄色味を帯びた独特な色をしており、また、その材質は良質で特殊な芳香を放つため、古くから酒樽の材料として珍重されていたと伝えられています。

江戸時代後期の紀行家菅江真澄は、その著書の中で芳しい香りのするスギと紹介しています。

また、昭和10年の秋田営林局（現在：東北森林管理局）発行の「秋田・山形の老樹名木」には珍樹として記録されていることから、県内外の林業家や研究機関などから森林事務所への問い合わせや、管轄する森林官が現地案内を依頼されたこともあります。

これらのことから、当支署では、「アオヤジロ」の外観的な特徴や材質、生態等についての知識習得や個体の保全が必要と考えており、若手職員へ伝達を行うとともに、地元高校生の職場体験などの際にも「アオヤジロ」を紹介するなど、地域の希少な財産を次世代へ継承する取組を行っています。

※胸の高さ（山側の地際から高さ120cm）で測った木の直径



周囲に比べ黄色味を帯びている中央の1本

利用する自然保護

秋田森林管理署

自然保護には大きく分けて二通りの考え方があります。一つは人が極力関与しない保護、東北では世界遺産「白神山地」がその代表例で、コアエリアは人の立ち入りを制限（禁止）し、時の流れに身を任せ、あるがままに推移を委ねるというものです。もう一つは人が利用・立ち入ることで自然を守る保護で、多くの人を訪れる結果として多くの目で監視するというものです。希少な高山植物などの保護は、人々がその美しさを楽しみながらできるこの方法が理にかなっているといえます。



コマクサ



ミネウスコキソウ

さて、当署管内は「八幡平」「駒ヶ岳」「真昼岳」「大平山」を有し、それぞれが国立公園・県立自然公園内にあり、多くの来訪者が登山や可憐な高山植物との出会いを楽しんでいます。そして、その登山・出会いを支えるためにボランティアの方々が登山道整備などに汗を流されています。ただただ感謝…

また、山開き後は地域の皆様と高山植物盗掘防止のためのパトロールをしています。自然保護の普及啓発・意識醸成と「ふとどき者」が現れないための活動です。ご理解とご協力をお願いします。

最後に「（高山植物は）撮ってもいいけど盗らないでね」。

防風保安林を守る治山工事

津軽森林管理署金木支署

屏風山は今から300年以上前に津軽藩が造林した保安林のことで、北は五所川原市十三地区から南はつがる市木造出来島地区までの約18kmで、幅は平均で600m、面積は国有林だけでも1,000haに及んでおり、日本海からの強風と飛砂を防ぐためにこの一帯に植林しました。そのさまが「屏風」を巡らしたようだとして屏風山と呼ばれています。



屏風山防風保安林

当地域の砂丘地帯はスイカやメロンを始めとした農業が盛んであり、現在も農家を含め津軽平野の人々の暮らしを守っています。

しかしながら、現在の屏風山防風保安林の中部から後方の森林地帯は良く成林していますが、前方の砂丘地帯は、波浪による浸食によって不安定な状況にあります。

そこで、治山事業として、海岸浸食を防止するためにコンクリートブロック根固工を導入し現在も継続施工しています。

また、根固工とともに、海食崖に覆砂工（緩傾斜堤）を施工するなど前線部林帯の後退防止に努めています。



海側に根固工、海食崖に覆砂工を施工し保安林を守る

センサーカメラによる獣害対策

米代東部森林管理署

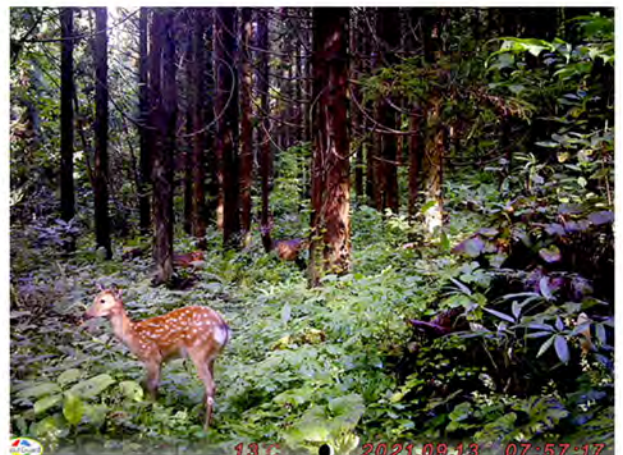
森林は人間だけのものではなく、多くの動物も生息しています。その動物とは上手に共存する必要があるものの、環境変化などの影響により山で動物と遭遇する機会も増し、動物による森林被害が発生しています（これを「獣害」と呼びます）。

特にニホンジカによる森林被害が多く、近隣の岩手県では多数の目撃情報がありここ秋田県北部にも生息域を広げ始めています。ニホンジカは繁殖力が強く群れで行動するため被害が拡大し、一度増えると減りにくい状況になることから、早めの対策が必要です。ニホンジカによる被害を未然に防ぐためには、生息状況の把握が非常に重要なことから、当署では各流域にセンサーカメラ6台を設置し、野生獣、特にニホンジカの生息状況の確認とニホンジカ影響調査・簡易チェックシート調査を活用した目撃情報を集計し、管内での生息状況を把握しています。



野生生物の移動経路「緑の回廊内」にカメラを設置

ニホンジカの生息域を知ることにより、今後の農林業被害の管理対策や防護対策による獣害の未然防止に繋がっていきます。



センサーカメラで撮影されたニホンジカ

小学生を対象とした森林環境教育の取組

三八上北森林管理署

当署が長年行っている小学生を対象にした森林環境教育を紹介します。

平成21年に、職員の子供が通っていた十和田市法奥小学校の先生から、「子供たちに森林の多面的な役割について学ばせたい」と要望があり、当時の3年生に、国有林内のブナ林の中で「森林の役割や大切さなど」を学ぶ森林教室を実施しました。これをきっかけに、その後、6年生へも「森林・林業」についての授業を行いました。



木材生産現場にて説明を受ける小学生

現在では、3年生への森林教室は継続し、6年生には「森林から木材、木材から住宅」という木材利用の流れをテーマに、1コマ目は森林の役割や機能について、2コマ目は木材生産現場に行き、スギの伐倒作業や高性能林業機械による造材（伐採した樹木を木材にする）作業などの見学、3コマ目は、木材加工施設や木造住宅の見学と柱材のカンナ掛けやドリルによる穴あけなど、木材の利用について体験するプログラムになっており、総合的な学習の時間「みどりの学習」の一部になっています。

今後もこのような取組を通じて、地域の森林・林業に親しみや興味を持ち、地域の産業を守っていく人材となってもらえるように、引き続き、連携していきます。

登山シーズン到来前の標識設置

岩手南部森林管理署遠野支署

積雪の少ない宮城の低山に始まり、北東北や標高の高い山へと、山開き前線が北上しています。

登山口にある案内板や、道中の「五合目」、「小屋はこっち」などの標識が老朽化していたり、あらぬ方向を指して役に立っていなかったりする場合があります。登山は自己責任とはなってしまいますが、安全な登山のためにも正しい情報が伝わるよう更新していく必要もあります。

標識を設置している機関は、国有林を管理している森林管理局・森林管理署、登山道などを借り受けた県や市町村、地元山岳会が好意でなど様々です。

昨年、早池峰山に関する地域での会議で、地元の消防から薬師岳に現在地の分かる標識が必要と提案があり、当支署で設置しました。



自然の景観を生かす標識を設置

薬師岳は早池峰山に対峙する東北百名山の山で、静かな山旅が味わえます。この雰囲気壊さず目に付きやすい標識を早池峰山の山開き前に設置することが出来ました。

レクリエーションの登山では国有林への入林届は不要ですが、万が一のため最寄りの警察署や登山口のポストに登山計画書を提出してください。

また、老若男女それぞれの体力と相談しながら、十分な装備を持ち安全な登山をお楽しみください。

国有林野所在市町村の魅力紹介

青森県東津軽郡外ヶ浜町

青森森林管理署

津軽国定公園龍飛崎。北海道の白神岬とは津軽海峡を挟んで19.5kmの距離があり、地下を青函トンネルが通ります。晴れた日には北海道を見渡すことができます。海沿いから龍飛崎灯台方向に延びる全362段の日本で唯一の階段国道があります。もとは生活道路として利用されていましたが、1974年に国道に指定されました。



階段国道339号

日本史上ひとときわ人気の高い人物である「源義経」。1189年（文治5年）、兄である源頼朝の手により平泉の地で悲劇の死をとげたとされる義経ですが、ここ外ヶ浜町三厩地区には義経が追撃をかくぐって平泉を脱出、北へ向かい龍飛崎を渡って蝦夷地（北海道）へ向かったという「義経北行伝説」が伝えられています。義経寺、甲岩、厩石、帯島など義経一行が歩んだ足跡をたどれます。



義経寺 仁王門

平館灯台は、全国的にも珍しい国道沿いに立つ白亜の灯台。明治32年にできた西洋式灯台で、高さは23mあります。クロマツ並木や西洋式台場の土濠が扇状に残っています。平館海峡を航行する船舶を100年以上にわたり見守ってきました。



平館灯台

大平山元遺跡からは、旧石器時代の終わりごろの特徴を持つ石器群とともに、土器片と石鏃が出土しました。土器片に付着していた炭化物の放射性炭素年代測定を行ったところ、紀元前13,000年頃のものである可能性が指摘されました。現在のところ北東アジア最古級の土器です。最も古い特徴を持つ土器片は、縄による施文や貼り付けなどの装飾がない無文のものです。重量があり壊れやすい土器の出現は、定住生活の開始を示す重要な要素であり、この土器片は土器の起源を語るができるもののひとつと考えられています（世界遺産 北海道・北東北の縄文遺跡群）。



史跡 大平山元遺跡 日本最古の土器片

お問合せ先：外ヶ浜町役場産業観光課 Tel.0174-31-1228

国有林野所在市町村の魅力紹介

岩手県久慈市

三陸北部森林管理署久慈支署

久慈市は北上山系の北東部に位置し、沿岸部は三陸復興国立公園に、内陸部は久慈平庭県立自然公園に指定された風光明媚な街です。

平成25年には三陸ジオパークに認定され、2億年以上前の地球活動で形成された貴重な地質・地形等が見られます。なかでも「北限の海女」で有名な小袖海岸周辺は、「つりがね洞」をはじめ、大地の隆起と長年の太平洋の荒波の浸食で形成された段丘や岩礁地帯を見ることができます。



つりがね洞

また、久慈市は国内最大の琥珀の産地です。琥珀とは、植物の樹脂が土砂などに埋もれ、化石となったもので、昆虫などが閉じ込められた珍しい琥珀もあります。

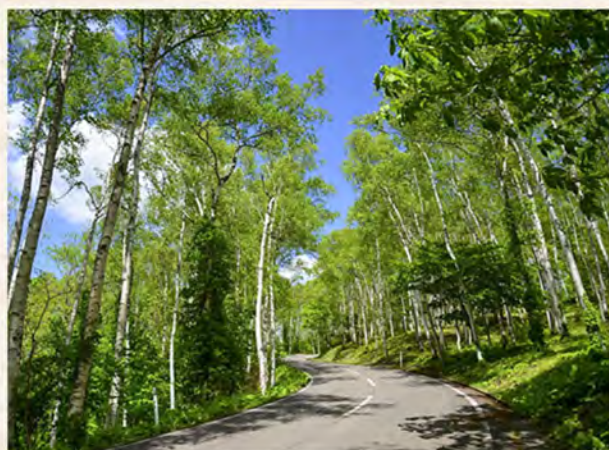
江戸時代以前から久慈産の琥珀が江戸、京都に送られ細工品等に利用されていました。現在も主にネックレスなど宝飾品や加工品に使われています。



琥珀

市内南西部の標高800mに位置する平庭高原は、県立自然公園に指定されており、約31万本の「日本一の白樺美林」が有名です。

約4kmにわたり国道281号線沿いに林立する白樺の白い木肌が、春の新緑や夏の青葉、秋の紅葉それぞれの色と調和し、他の林とまた違った景色を楽しむことができます。そのためドライブや散策コースとしてお勧めです。



日本一の白樺美林

平庭高原では、久慈市の「花」にも指定されているレンゲツツジの群生が例年6月ごろ見ごろを迎えます。また、今年で40年目を迎える年間4回開催される東北唯一の闘牛大会は、若い雄牛の激しいぶつかり合いが迫力満点で毎回県内外のファンを魅了します。

ほかにも宿泊・日帰り入浴ができる平庭山荘やパークゴルフ場、スキー場など年間を通して楽しめます。



東北唯一「闘牛大会」

お問合せ先：久慈市商工観光課 Tel 0194-52-2123

東北地方は、6月中旬に梅雨入りしました。梅雨期には降水量が増え、それに伴い山地災害の危険も高くなります。

日本では、毎年約2,000箇所を超える山くずれ・土石流・地すべり等の山地災害が発生しています。その主な要因としては、降水が集中する梅雨や台風などによるものがほとんどです。また、近年では、局所的な集中豪雨が頻発する傾向が強まっています。

(山地災害の発生状況 林野庁ホームページ)
https://www.rinya.maff.go.jp/j/saigai/saigai/con_2.html



東北森林管理局管内においては、昨年8月に台風9号から変わった温帯低気圧により、青森県下北地域を中心に大雨による山地災害が発生しました。下風呂観測所の雨量データ（青森県）によると、24時間総雨量が369mm、1時間最大雨量59mmを観測し、むつ市と風間浦村を結ぶ国道279号沿線では、国有林及び民有林において多数の山くずれが発生し、国道は通行止めになりました。また、むつ市と風間浦村の境界にある小赤川に架かる小赤川橋が落橋するといった甚大な被害が発生しました。東北森林管理局では、被害のあった国有林において災害復旧工事に着手し、令和4年度内の工事完了に向けて取り組んでいます。

さて、山地災害から地域の安全で安心な暮らしを守る一つの有効な方法は、山くずれ、土石流、



青森県風間浦村の治山施設による土砂や流木の流出抑制



治山技術者の被害状況調査

地すべり等が起こらない、あるいは起こりにくくするために国や都道府県の事業で行われている治山事業です。山地災害のおそれのある地区（山地災害危険地区）等を対象として、治山ダムや人家の裏山での土留の設置、あるいは土砂の崩壊・流出防止機能の低下した森林の整備などを積極的かつ計画的に推進しています。このようなハード面での対策工事により、すべての山地災害危険地区を対象として地域の安全を確保するには、長い年月と多くの費用が必要です。そこで、東北森林管理局では、「山地災害危険地区」に関する情報をホームページに掲載し、地域の皆さんに情報提供することを通じて、地域における避難態勢の整備等と連携するなど、災害の未然防止及び軽減に向けた対策を進めています。

また、山地災害に備える取組として、山地災害が一番多い梅雨の季節に、林野庁、都道府県や市町村では毎年、「山地災害防止キャンペーン」を全国的に展開しています。そのほかに、林野庁ホームページには、山地災害に備える情報が掲載されています。その中のひとつに『山地災害の8つの危険信号』が掲載されていますので、この機会に確認し山地災害に備えましょう。

(「東北森林管理局の山地災害危険地区」に関する情報/東北森林管理局ホームページ)
<http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/policy/business/tisan/santisaigai.html>



『山地災害の8つの危険信号』
https://www.rinya.maff.go.jp/j/saigai/saigai/attach/img/con_4-44.jpg



使える!

行政情報&研究・技術の参考情報

森林空間を活かした 森林サービス産業について

森林サービス産業とは、豊かな森林資源を「健康」、「観光」、「教育」の多分野で活用して新産業を生み出すものとして、農山村地域の関係人口創出・地方創生に寄与するとともに、新たな森と人との関わり「Forest Style」の創造を目指しています。

近年、グランピング、森フェスなど森林空間でのアクティビティが増加、多様化する中、森を拠点として、都市の企業や学校等での関係人口が増え、地域が賑わい、経済が循環する新たな産業の創出に向け、森林サービス産業への期待が高まっています。

東北森林管理局では、広く森林に親しんでいただけるよう「レクリエーションの森」を整備し、特に、訪れていただきたい森を「日本美しい森お薦め国有林」として管内に11箇所選定しています。

また、各森林管理署等では、国有林をフィールドとして森林環境教育の実践の場、スキー場や登山など、関係人口拡大による地域活性化にご活用いただいております。詳しくは、お近くの署等にお気軽にご相談下さい。



森林環境教育



健康ウォーキング



焼走自然観察教育林

「日本美しい森 お薦め国有林」林野庁ホームページ
http://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu_rinya/kokumin_mori/katuyo/reku/rekumori/index.html



東北地方における 早生樹の生長特性

当センターでは、再造林から下刈り作業における低コスト化に資する取組として、早生樹を使用した施業モデルの構築について検証してきました。検証にあたっては、多雪・寒冷な気候に耐性のあるとされるユリノキ、ヤマハンノキ、イチヨウの3種を選定し、秋田県北秋田市と岩手県田野畑村に植栽試験地を設定しました。

検証した結果、同程度の地域に植栽したスギコンテナ苗と比較した初期生長について、北秋田市はユリノキとヤマハンノキが優れ、田野畑村では、ヤマハンノキは優れ、ユリノキは同程度、イチヨウは劣るものとなりました。

また、ユリノキとヤマハンノキは初期生長が優れていることから、下刈回数を1~2回程度削減できる可能性が示唆されました。ただし、植栽初期の誤伐を防ぐため植栽木に標識テープを巻くなどの工夫が必要と考えます。



ユリノキ4年生(左)、ヤマハンノキ3年生(右)

このように、ユリノキとヤマハンノキは多雪・寒冷な東北地方でも生育可能で優れた生長特性を示すことが確認できましたが、ユリノキは外来種であり、種子の最大飛散距離は約92mあることが確認されたことから、実用化にあたっては実生による分布拡大の可能性に留意し、適切な植栽地を選定する必要があります。

ご関心のある方は、東北森林管理局・森林技術支援センター(0173-57-9022)へお問合せ下さい。

地域のこの人

この緑多き地域に育ち

秋田森林整備事業協会
有限会社松橋木材 専務取締役 松橋 隼人さん

私が会社に入ったのが20歳、右も左もわからないままの現場視察、今の高性能林業機械が頻りに動き回る光景が目に入りました。元々、機械好きでもあり、仕事へ取り組む覚悟を決めました。

あれから18年、戦後70年を迎え、地域の山林が見事に緑映えし、スギが黙々と育っている事が頼もしくもあり、勇敢に見えるこの頃です。この緑多き地域に育つ中で、必要なことは再造林と感じています。地域の高齢化が進み、スギも高齢級が多々見られる一方で皆伐が進み、再造林は極めて少ないように思います。



伐倒・造材作業の様子

当社は、国有林、
民有林合わせ年間素
材生産量約2万m³で
再造林面積5haと
まだまだ追いつかな
いのが現状です。6

月に東京で開催された「伐採搬出再造林ガイドライン全国連絡会議第5回発起人会議」においての全国の動向を参考にしながら、これからの秋田の再造林に役立てたいと考えています。

また、当社には林業経験7年目の従業員もあり、入社してすぐに、林業作業士(グリーンマイスター)を受講し、林業従事に必要な技術を習得しました。現在は大きな戦力で、頼もしい存在になっています。彼は「地元で安心して、自然の中で気持ちよく、森林づくりにやりがいを持って働ける。これが支えです。」と語ってくれています。

私も中堅と言われる域に達し、森林整備事業を通じて、若い人材を育成するとともに、若い力と一緒に林業を盛り上げ、地域に貢献していきたいと思っています。

地域の様々な恵みとともに

湯沢支署 雄勝森林事務所
森林官 畠山 郁さん

当事務所は、秋田県南部の湯沢市雄勝地区の国有林、面積約12,000haを管轄しています。

雄勝地区にはかつて日本一の産出量を誇る銀山がありました。また秋の宮温泉郷をはじめとする温泉があり、地熱発電そしてジオパークのサイトとして活用されています。

管内国有林には日本二百名山に名を連ねる神室山(標高1,365m)、東北百名山に名を連ねる虎毛山(標高1,433m)があり、登山者に人気です。特に寅年である今年、国内でも数少ない「虎」の字を冠した虎毛山に関心が寄せられています(登山口までの林道は工事中につきご注意願います)。

一方で、「山女の森」として地元の役内・雄物川漁業協同組合と社会貢献の森における森林整備等の活動に関する協定を締結しています。地元漁協関係者が広葉樹を植栽し、下刈等の保育作業を行うものです。ちなみに、雄物川の支流役内川は管内国有林を源流とし、矢口高雄氏の「釣りキチ三平」の舞台として漫画に紹介され、実写版のロケ地でもありました。

このように、様々な地域の資源に恵まれたこの地において、地域の特徴を生かしつつ、森林の様々な恵みを楽しむことができるよう、日々の業務に取り組んでいきたいと考えています。



山女の森での打ち合わせ(写真右側が筆者)

7月中旬

むかしの害虫とのたたかい(企画展)

7月6日(水)～11月30日(水)
農業の無い時代から食料増産時代
までについて展示・解説します
(岩手県立農業ふれあい公園農業科学博物館)

二戸折爪岳ヒメポタルプレミアムナイトツアー

7月9日(土)～13日(水)
ブナの原生林内でイルミネーション
のような光の瞬きは幻想的です
(岩手県・銀河鉄道観光・みちのりトラベル共同企画)

毛馬内まつり

7月12日(火)～7月13日(水)
子供たちの樽みこし運行が行われ
ます
(秋田県鹿角市)

肘折温泉開湯祭

7月14日(木)
地藏神輿行列や開湯餅まき等が行
われます
(山形県最上郡大蔵村)

花まつり

7月15日(金)
出羽三山の神社の例大祭。社殿で
の祭典後、神輿の渡御を行います
(山形県鶴岡市)

ナイトハイクと星空観察

7月16日(土)
星の先生たちと一緒に夜の散歩に
出かけませんか
(岩手県・網張ビジターセンター)

夏山登山 ライオン岩ルート

7月17日(日)
夏のお山を登り、ライオン岩へハ
イキング(事前申込制)
(青森県・弘前市みどりの協会)

いにしへの道「蔵王古道」を歩く

7月17日(日)
いにしへの道を歩き、思いを馳せ
る
(宮城県・蔵王野鳥の森自然観察センター「ことりはうす」)

7月下旬

にしめやランド2022

7月23日(土)～7月24日(日)
道の駅津軽白神と津軽ダムパーク
を会場に各種クラフト体験等
(青森県・西目屋観光協会)

全国やぶさめ協議会第15回遠野大会

7月24日(日)
華やかな和装で人馬一体となって
矢を放ち、スピード感と迫力満点
(岩手県・全国やぶさめ競技遠野大会実行委員会)

鷹巣神社祭典

7月24日(日)～7月25日(月)
太鼓の引き山車やみこしの巡業が
行われます
(秋田県北秋田市)

昆虫観察会

7月24日(日)
センター周辺で、どんな昆虫(主に
チョウ)がいるか調べます
(秋田県・森吉山野生鳥獣センター)

自然ふれあいスタンプラリー

7月25日(月)～
期間中、青森県内全3施設来訪達
成者先着1,000名様に景品を贈呈
(青森県・白神山地ビジターセンターほか)

住田町夏まつり

7月30日(土)
五葉山火縄銃鉄砲伝承会による演
舞披露
(岩手県・住田町夏まつり実行委員会)

サンドクラフト2022inみたね

7月30日(土)～8月31日(水)まで展示
Sand Monstersをテーマに制
作する芸術(砂像)を鑑賞できます
(秋田県・三種町サンドクラフト実行委員会)

2022ビーチヨガin普代浜園地キラウミ

7月31日(日)・8月28日(日)・9月25日(日)
朝日を浴び、砂浜で波の音を聞き
ながら心と体をリフレッシュ
(岩手県・普代村観光協会)

8月

能代七夕「天空の不夜城」

8月2日(火)～8月3日(水)
高さ17.6mの「嘉六」と24.1mの
「愛季」が運行します
(秋田県・天空の不夜城協議会)

三陸・大船渡夏まつり

8月5日(金)～8月6日(土)
花火打ち上げと海上七夕船団によ
る湾内巡行パレード
(岩手県・三陸・大船渡夏まつり実行委員会)

小坂七夕祭

8月6日(土)～8月7日(日)
明治の末頃から約100年続いて
いると言われる七夕のお祭りです
(秋田県・小坂七夕振興会)

安比の、夏祭り。

8月6日(土)～8月21日(日)
安比高原で、さんさ踊りや夏花火、
縁日屋台等が開催されます
(岩手県・IWATE HOTEL&RESORT)

大館 山コチンチコ

8月7日(日)
子どもたちが自慢の絵灯ろうを山
車に乗せて引くイベントです
(秋田県・大館市扇田小学校)

十和田八幡平駅伝競走全国大会

8月7日(日)
戦後まもなく始まり、「十八駅伝」
の愛称で親しまれています
(秋田県鹿角市)

盛夏の山 太陽の道

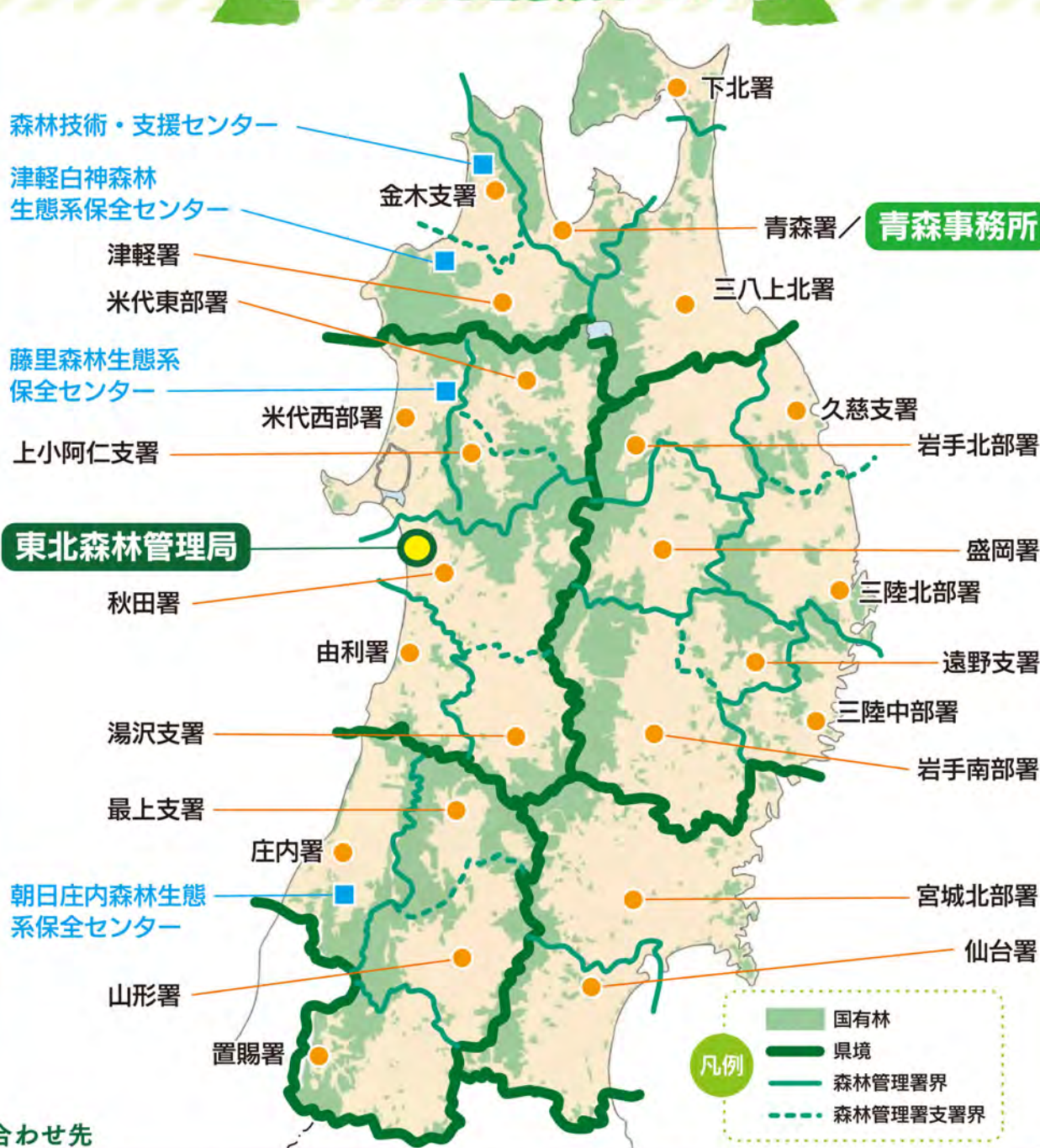
8月7日(日)
盛夏の季節、「こどもの森」の太陽
の道を一周(事前申込制)
(青森県・弘前市みどりの協会)

「山の日」全国大会やまがた2022

8月10日(水)～8月11日(木)
記念登山、記念式典・トークイベン
ト、歓迎フェスティバル
(第6回「山の日」全国大会実行委員会)

東北森林管理局マップ

広報誌「みどりの東北」スマートフォン対応版はこちら↓



問い合わせ先

青森県	青森事務所	青森市篠田三丁目22-16	☎017-781-2117	宮城県	宮城北部署	大崎市古川東町5-32	☎0229-22-2074			
	津軽署	弘前市大字豊田二丁目2-4	☎0172-27-2800		仙台署	仙台市青葉区東照宮一丁目15-1	☎022-273-1111			
	金木支署	五所川原市金木町芦野200-498	☎0173-53-3115	秋田県	米代東部署	大館市上代野字中岱3-23	☎0186-50-6130			
	青森署	青森市篠田三丁目22-16	☎017-781-0131		上小阿仁支署	北秋田郡上小阿仁村沖田面字野中376-13	☎0186-77-2422			
	下北署	むつ市金曲一丁目4-6	☎0175-22-1131		米代西部署	能代市御指南町3-45	☎0185-54-5511			
三八上北署	十和田市西二番町1-27	☎0176-23-3551	秋田署		秋田市河辺和田字和田156-3	☎018-882-2311				
津軽白神センター	西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字東阿部野70-82	☎0173-72-2931	湯沢支署		湯沢市田町二丁目6-38	☎0183-73-2164				
岩手県	森林技術支援センター	北津軽郡中泊町大字中里亀山540-8	☎0173-57-9022	由利署	由利本荘市水林439	☎0184-22-1076	山形県	藤里センター	山本郡藤里町藤琴字大関添24-3	☎0185-79-1003
	岩手北部署	八幡平市荒屋新町41-8	☎0195-72-2221	庄内署	鶴岡市末広町23-37	☎0235-22-3331		山形署	寒河江市元町一丁目17-2	☎0237-86-3161
	三陸北部署	宮古市磯鶏石崎4-6	☎0193-62-6448	最上支署	最上郡真室川町大字新町字下荒川200-11	☎0233-62-2122		置賜署	西置賜郡小国町大字岩井沢581-45	☎0238-62-2246
	久慈支署	久慈市夏井町大崎14-12	☎0194-53-3391	朝日庄内センター	鶴岡市下名川字落合3	☎0235-58-1730				
	三陸中部署	大船渡市盛町字津野沢7-5	☎0192-26-2161							

東北森林管理局 〒010-8550 秋田県秋田市中通 5-9-16 ☎018-836-2014



No.220 ●発行日/令和4年7月 ●発行/東北森林管理局

●東北森林管理局ホームページもぜひご覧ください
<https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/>



本誌に使われている紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。